

第9回鹿屋市行財政改革推進委員会 会議録(要点筆記)

日 時：平成19年3月26日(月曜日)午後1時30分～午後4時

会 場：鹿屋市役所3階庁議室

出席者：秋元耕一郎・上原忠明・木原誠・小林千鶴・豊重哲郎・中原浩一
坂中春久・高目秋彦・松本辰二・宮島和男・吉野千代子
欠席者：入佐俊治・大谷和信・神宮司康生・福留勝志(敬称略)

事務局(行政経営改革課)：総務部長・総務部参与・徳留課長・黒木・吉留・郷原・小原
報 告：産業政策課・公園課
協議題：都市政策課
傍聴者：4名

【1.開会】

【2.報告 ばらを活かしたまちづくりについて】

(産業政策課 説明)

委員 市街地再開発やばら園などで財政が硬直化していると聞いたのだが、ばら園がスタートした以上は継続させていかないといけないと思う。計画当初の見込みと決算額との関係はどうか。

産業課 初年度は約75000人を見込んでいたが、約15万人余りの入場者があり、入園料をはじめ約8800万円の収入があり、人件費を含めた維持管理に伴う支出が約8300万円であった。周辺へ及ぼす経済的効果もある程度現れてきていると考えている。垂水の道の駅、根占のネッピー館への波及効果も出てきているので今後も大隅地域も含めて連携を深めていきたい。

委員 集客効果をあげるために学校行事との関連をもっと活かしていけばいいと思う。

委員 地域住民の中にはばら園にお金をかけてもしょうがない、という声もある。経済への波及効果として数字的にどのくらい効果があったか、数値目標が設定されているのか、物品開発など波及効果に結びついていく方策がとられているか、環境に優しいという面から薬剤をたくさん使うと聞いているが、地下水への影響はどうか。

委員 日本一を目指すのはいいが、どのくらい効果があるのか。全国へPRしてお客を呼ぶことも必要ではないか。

委員 事業型のものに対しては、企業会計の損益という観点から、減価償却も含めてどういう状態なのか示していただきたい。

委員 ばら園の案内表示が少なすぎると思う。行き着かず帰る方もいるので改善してもらいたい。

委員 古江から向かうと高須の方へ看板が出ている。案内を徹底して。

会長 時間の関係もあるので質問をとりまとめて可能な範囲で一括してお答えいただきたい。

委員 5年くらいで入場者はピークではないか。その後の対策はあるか。イベントがない閑散期の対策をどうするか。ミニ公募債も借り入れなので返済があるのできちんとした計画が必要ではないか。

委員 看板について、吾平方面から来ると見にくかった。民間の看板ばかりが目につくのもっと大きく目立つようにしては。レストランの利用状況はどうか。

委員 雨の日に入場料を取るのはいかがでしょうかと思う。輝北天球館のように再利用券を発行するなどしたらどうか。

会長 オフシーズンも含めてアイデアをふくらましていけばもっと活性化すると思うのでよろしくお願ひする。

産業課 まずは鹿屋市民に来てもらい、市民に広報マンになってもらいたいと考えている。鹿屋市民が訪れるばら園を目指したい。環境問題については、完全無農薬とまではいかないが、野菜と同等、それ以下の減農薬など、色々と工夫研究を重ねて実施しているので、ご理解願ひたい。経済への波及効果として、1.2割程度市内のホテル等への集客も増えていると聞いている。ばら園は、当初から都市公園を経営するという視点から取り組んできており、入園料をベースとした収入と、維持管理に伴う経営のバランスを考えながら、料金設定や開園時間等に今後も柔軟に対応していく。案内表示についてはご指摘の通りであるが、当初からすると国県の協力も得てかなり改善されてきているが、利用客の意見を伺いながら今後も改善していきたい。民間

の看板も利用させていただくように努力していく。今後も誘客増大に努め、周辺への経済的効果がより得られるよう、関係団体と連携して進めていきたいと考えている。

会長 土作りを基本としていけば環境問題も解消していけると思われるのでよろしく願いたい。

【3．報告 平成19年度指定管理者移行手続き施設について】

(行政経営改革課 説明)

委員 公募の予定スケジュールは。

行革課 基本的には6月議会で条例改正、7月、8月で公募となる。

委員 ここまでの作業でもだいぶご苦労されたと思うが、決算額が予算額を上回るというのはいかかなものかと思うが。

行革課 直接経費だけではなく、職員の給料も間接経費として見込むので、その部分は圧縮していく、臨時職員が関わっている部分も削減していくということである。あまり積算額を落とすと受け手が厳しくなるので今後詰めていく。

会長 3年の指定期間は試行的というのとは変わらないと思うが、その後についてはどうか。

行革課 現在はあくまでも考え方であり方針でしかないが、実績を見てモニタリングも踏まえて3年後この施設が指定管理者で妥当かどうかはその時にならないと分からない面がある。どこを削減すべきか、という検討はもちろんずっと続けていく。その過程でよりよいプランが出てくるものと考えている。

【4．報告 平成18年度推進委員会の総括について】

(行政経営改革課 説明)

委員 夕張の問題などを考えると、何のための行革なのか、考えて欲しい。決まったことに対する責任感が薄く、スピード感がない。決めたことは早く実施すべき。これまでの報告を見ると十分でない。職員に対する徹底をして、夕張のようにならないよう、先手を打って欲しい。

【5．協議題 第8回委員会会議録について】

(行政経営改革課 説明)

(原案のとおり確定)

【6．協議題 協働に関する意見交換】

(行政経営改革課 説明)

委員 共生協働は県のマニフェストだが、それまでは南のふるさと事業というものがあつたが、19年度は補助金2割削減で、20年度になったらゼロ査定になっている。共生協働の名の下に切られていく気がする。これまで積み上げてきた物が崩れていく感じを受ける。市民活動推進課が主管課となるとのことだが、やはり企画、総務部門にあるべきだと思う。職員もいままでの共生協働とどう違うかがわからないのではないかと。

会長 まず参加している課長に自己紹介していただいて、部長方にも同じテーブルに着いていただきたいと思う。この協働は大きなテーマだが、本日はこれという結論は出さない。職員と委員との意見の相違もあると思うが、積極的な意見交換を行いたいと考えているのでよろしく願いたい。提言のある委員がいれば願いたい。

企画課長 先日は柳谷集落の祝賀会ということで招待いただいたが、行ってみると、思ったより華やかではなく、簡素だが参加した皆さんが輝いていたと感じた。協働共生は行政が体よく、担いきれない部分を地域、NPOに負担していただくという考え方ではなく、地域を良くするためにはどうしたらいいか、そのためには行政が何をすべきかをじっくり、しっかり考えていく必要があると考えている。

委員 私は市民協働まちづくり推進会というような組織が必要ではないかと考えている。既存の町内会をもっと利活用して中心にしていければいいと思う。吾平町も地区単位になっていくが、それを活かしていく施設、組織がないと始まらないのではないかと。それと、市の職員がどれだけ地域に貢献したかという評価制度を取り入れていくことが重要。

自治課長 町内会との協働関係については 組織の再編、統一を進めているところである。吾平町では小規模町内会が多いので地区分館を中心に統合を進めていきたい。

委員 協働は町内会が一番の近道だと思うが、理解のある人ない人いるし、難しい面もあると思う。こういうことをやらせたらやれそうだという人を育成していく必要があるし、モデルとして特区を作っていくのが重要だと思う。それには事前の制度などの説明と住民の理解が必要。

市民活動課長 NPO団体もこれからもっと増えていくのではと考えている。

委員 同じような団体が市内にはたくさんあると思う。町内会、PTAなどもそうだが、そのつながりのパイプが欠けているのでは。団体の代表が年に2回でも意見を出し合える会が必要。意見を交換できるような会、お互いを理解できる会の存在が必要。そのためには職員が張り付いて、要望があれば次回で必ず回答するというシステムが必要で、出来ることは即実行すべきである。その辺が鹿屋市には足りない。つながりは個々にはあるのだが、生かしきれていない。

委員 夕張市を例に取ると、目的と手段でいうと協働は手段だと思う。行政があり、地域住民がある。360億を返済する共通の目的を持てたという面では夕張市は良かったのかもしれない。ネガティブな目的で市民に協働を強いているイメージがある。やらなければサービスが低下しますよ、とされているような気がする。

委員 協働とは何かというのが書いてあるが、鹿児島県と鹿屋市で同じ概念か。

行革課長 これまでは行政の下請的な考えで来た面があるが、考え方が全国と乖離が生じてきているのではないかと考えている。十分な情報提供、システムを最初で整理しないと入り口が見つからないのではないかと、下請的な感覚から抜け出せないのではないかと危惧している。それを払拭するためにこの委員会で方向性を模索したいと考えている。

委員 鹿屋市の全事業は把握していないが、協働に当てはまりそうな事業は分類したことがあるか。

行革課 まだ十分にしていない。

委員 協議するにしてもまな板の上の材料がないと協議が進まないと思うのだが。

委員 以前は字が違う協同組合に勤めていたが、この協働という字も最近理解が出来てきたところである。感覚としては役所の人是一般市民からすると一ランク違うというイメージがある。新しい町内会が出来つつあるが、柳谷は夢であり、目指していきたいが、行政に頼るのでなく金銭的な支援をもらわないでやっていければ、と考えている。連携を深める中で、誰に相談しているのか、役所のどこに電話すればいいのかが分からない状況がある。町内会で役所に勤めている人でパイプ役になれる人がいればありがたいとつくづく考えている。町内会で何か企画をするにしてもそういう人を中心にしてやっていけばうまくいくと思う。

委員 ばらの話があったが、例えば町内会にばらが一本ずつあれば後になって市内で咲き誇ると思う。ばらのまちを本当にするならば市民がひとり一本咲かせる位の気持ちを持つような方向性さえ出せれば、常にそのことを啓発していけたらみんなの意識にばらのまちとして根付くと思う。5年後にはこうなるという方向性を意識付けしていけばうまくいくと考えている。

委員 自分ではゴミ拾い、廃品回収など本当はしたくないから行きたくないという気持ちがあるし、自分の出来ること、やりたいことから地域へ社会貢献していければいいと思う。自分から行きたいと思っていく、協働も自分からやりたいからやるというような仕掛け作りが必要。NPOについてもお金がないので税理士を頼めないという場合にサポートセンターや事務を教えるところがあればいいのではないかなと思う。

会長 協働の基本は町内会、集落であり、ここがどう意識改革を図っていくかが肝心だと思う。地域が動き出そうとすればリーダーが必要になってくる。途中まで素質を認めてもらうと次を考えざるを得なくなるものだと思う。行政の職員をどう組織化できるかが非常に重要。地域の会合でも職員がボランティア休暇で対応するなどすればつながっていくと思う。リーダー育成の近道は、町内会、集落であり、職員であると思う。それと、高齢者が動けば動き出すという現象があるので、高齢者を動かしていく工夫が必要。最も重要な教育に関して市長部局と教育部局と離れているところに問題がある。戦後の流れで来ていると思うが、今の時代、教育改革も進めないといけない。子供の時から地域づくり、社会教育に関わるのは重要。子供が動けば高齢者も動く。これも予算無しではなかなか前へ進まないと思う。職員が自分の町内会に帰ったら誇りに思えるような地域づくりを自分で進めることが必要。串良は4地域12団体に統一がされるが、輝北吾平も同じように統一されるのか。

自治課長 鹿屋が95、輝北4、吾平10、串良12である。

会長 全部で100程度であるので是非職員を貼り付けていただきたい。是非やってもらいたい。

総務部参与 大分県の九重市の橋が出ていたが、それに関わる人たちは、行政に何も求めない、むしろ

る行政の加勢をするんだと言う気概であったように思う。それが全てではないだろうかと思う。その町では経営としてうまくいっている。以前よりも財政がうまくいっているとのことであった。これが協働共生の原点ではなからうかと思う。

会長 本丸となる市民活動推進課長から何かないか。

市民活動課長 職員の意識形成が重要と考えている。企画調整課が作成したハンドブックを活用してまずは職員の研修を充実させていきたい。

【7. 協議題 行財政改革推進委員会の平成19年度開催計画】

(行政経営改革課 説明)

委員 商工費より多い議会費について予算的に見てどうなのか、それがいい悪いではないが、市議会のそういう面も触れておきたい。

行革課 次回以降資料で報告させていただきたい。その上で必要があれば議論していければと思う。

会長 教育関係も是非協議に加えていただきたい。

【8. 事務連絡】

事務局 次回の日程については、4月25・26日のどちらかで13時30分から開催したい。日程については、後日お知らせする。

【9. その他】

委員 定員適正化計画がありながら、先日の広報紙で嘱託・パート職員のこれまでと変わらないような採用募集があったので、東京事務所の廃止や指定管理者制度などを進めていく中で人を引き上げていくのに、職員を採用していく意図が理解出来ない部分があった。

総務部長 一年間ご苦労様でした。庁内での意識も変わって来ていると考えている。東京事務所も委員会での意見を踏まえてかつてない整理がなされた。それから、合併初年度にあってはならない事件が起こったことについてはこの場を借りてお詫び申し上げたい。新しい職員像も作り上げていきたいと考えている。地域活動についても職員へ働きかけていきたいと考えている。職員として勉強会を通じて協働とは何か、という理解を深めていきたい。臨時職員の件については、ご指摘のとおり定員計画に対応できていない部分もあるが、新たな事務への対応や、必要がある場合は年度ごとの再募集の形を取るなどして限定的に採用していく方向である。

会長 それでは他になければこれで終了する。

【10. 閉会】